

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日(土)

Aブロック

2回戦

富士北麓公園体育館

Aコート

第5試合

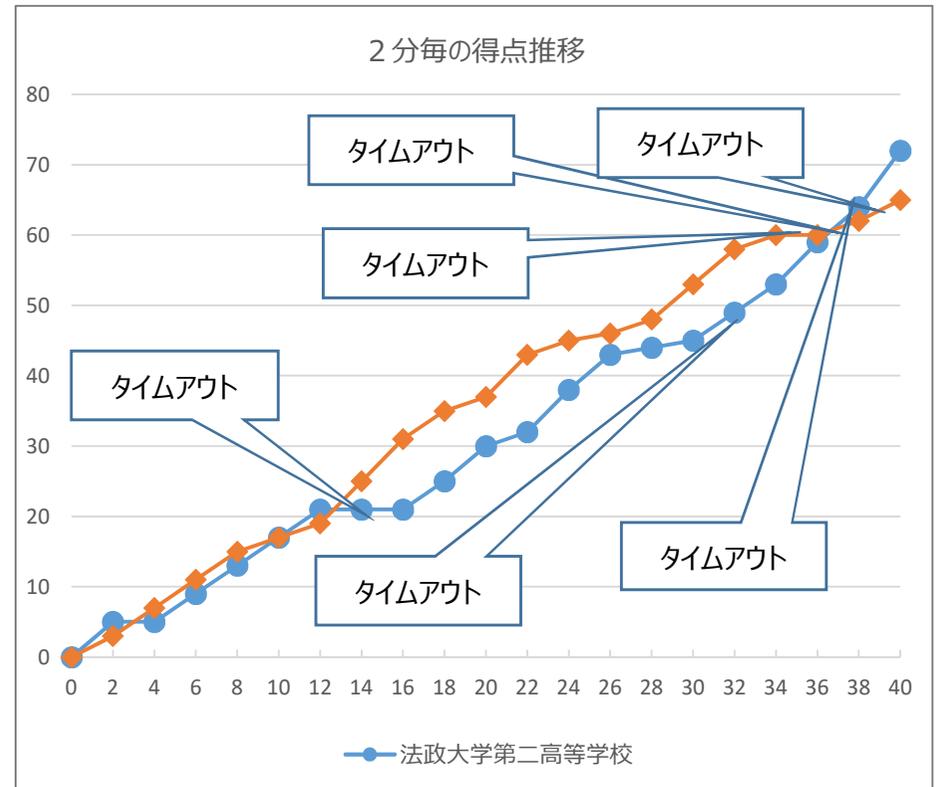
チームA 法政大学第二高等学校 (神奈川県)	72	17 1st 17	65	チームB 八王子学園八王子高等学校 (東京都)
13 2nd 20				
15 3rd 16				
27 4th 12				
OT				

Aチーム： 法政大学第二高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		1	田坂 優真	2	0	2	0	1	2	4	1	3	3	6
2	*	3	今池 翔大	18	2	9	6	13	0	0	3	3	4	7
3		4	有賀 陸	2	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1
4	*	5	田中 一真	10	0	1	5	12	0	0	0	0	2	2
5		6	坂本 温人											
6	*	9	高嶋 隆之介	7	1	2	2	2	0	0	3	1	6	7
7		15	岩津 伶音											
8		16	千原 禎之											
9	*	17	佐藤 悠真	25	4	8	6	8	1	1	2	1	7	8
10		23	山田 嘉脩											
11		29	佐藤 正樹											
12		30	吉澤 凌雅	4	0	7	2	4	0	0	1	1	1	2
13	*	31	皆藤 太郎	4	0	1	2	4	0	0	4	0	1	1
14		34	深澤 寿	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0
15		37	コラン 直生											
HC/TEAM			鈴木 恭平									3	2	5
合計				72	7	34	24	46	3	5	15	12	27	39

Bチーム： 八王子学園八王子高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		0	保高 優平	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
2		1	内田 尚人	3	0	0	0	3	3	4	2	0	1	1
3		2	野田 駿介											
4		5	ママドゥ ンジャイ											
5	*	6	半田 雄資	6	0	4	3	9	0	0	0	2	3	5
6	*	7	ウスヌヌ ジャ	29	0	0	12	24	5	10	3	7	16	23
7	*	9	草木 恵翔	20	2	9	7	8	0	0	1	0	0	0
8		20	鶴間 大翔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		24	神長 龍昇											
10		36	鈴木 雄太											
11	*	40	工藤 祐輔	5	1	5	1	1	0	0	4	0	1	1
12	*	44	佐藤 琉星	2	0	0	1	2	0	0	1	2	4	6
13		50	園田 海翔											
14		51	吉橋 佑騎											
15		91	萱原 偉											
HC/TEAM			石川 淳一									0	6	6
合計				65	3	19	24	49	8	14	11	11	31	42



戦評

記者者：村松 優 (山梨県高体連)

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。八王子は#7のインサイドプレー中心に得点を重ねる。対して法政二高は、相手の高さに対して、堅実なディフェンスを行い、#3、#6らがブレイクで得点を重ね、一進一退の展開が続く。1Qを17-17の同点で終了。2Qも八王子は#7のインサイドにボールを集め、#9、#6らが確実に得点をする。一方、法政二高は相手の高さに対して攻めきれず、外角のシュートが多くなるが決めきれず。八王子は#44らのリバウンドやスティールからブレイクを重ね、30-37八王子リードで前半を折り返す。3Q、法政二高は、相手の#7の高さに対してダブルチームや激しいチームディフェンスで守り、スティールなどを奪い点差を詰める。最大2点差まで詰め寄ったが、法政二高は、3Pシュートが決まらず、八王子#7へのインサイドで確実に点を決め53-45の八王子リードで3Q終了。4Qも法政二高は、激しいディフェンスから得点を重ね、#3のガッツ溢れるオフenseリバウンドから#17が3Pを決め60-59と詰め寄り、#3の3Pでついに残り3分逆転、さらに#3の連続得点で60-64とリードし、八王子はタイムアウト。八王子は#7が点を決め2点差まで詰め寄るが、法政二高の#3から#31への合わせで再びリードを広げる。法政二高#17の3Pに対し八王子も#40の3Pで対抗するが、最後は、法政二高の#9が3Pを決め、65-72で法政二高が準決勝進出を決めた。

主審	第1副審	第2副審
眞榮喜 工 (指名)	岡崎 武史 (千葉県)	稲田 翔人 (東京都)